

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
歯周病学分野

のぐち かずゆき  
**野口 和行**  
教授

日本歯周病学会常任理事、日本歯周病学会専門医・指導医

1985年東京医科歯科大学歯学部卒業、1989年東京医科歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了、2018年より現職。



そのだ れいみ  
**園田 怜美**先生

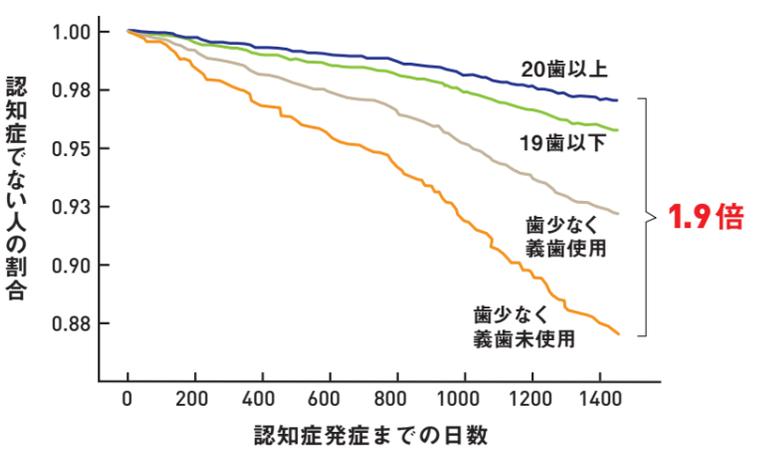
2017年昭和大学歯学部卒業、2019年鹿児島大学病院歯科研修医修了、2019年鹿児島大学大学院歯学研究科博士課程入学、現在に至る。

# 歯周病と認知症

歯周病予防のため、年に1、2回は歯科医院でクリーニングをしましょう。

歯周病は全身の病気と深い関わりをもつといわれています。日本歯周病学会にご協力をいただき、歯周病についてのお話をうかがいます。第10回は「歯周病と認知症」です。

図2 歯数・義歯使用と認知症発症との関係

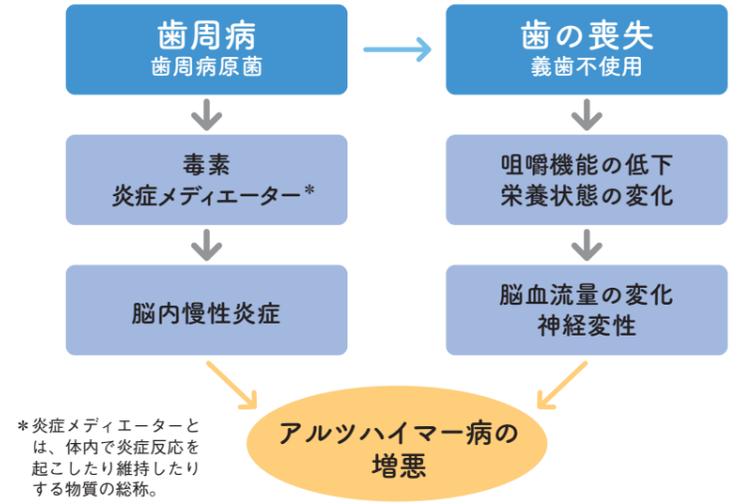


出典：Yamamoto T et al., Psychosom Med, 2012

できないことによる栄養素の摂取不足や大脳の海馬や扁桃体など認知機能をつかさどる領域への刺激が少なくなることなどが考えられています。

また、歯が多く残っている場合やすでに喪失していても入れ歯等で口腔機能を維持している場合は、転倒のリスクが下がることがや要介護認定になる可能性が低いことが知られており、要介護になりやすい疾患を予防し、健康寿命を延ばす可能性もあるとされています。

図3 歯周病と認知症との関係(仮説)



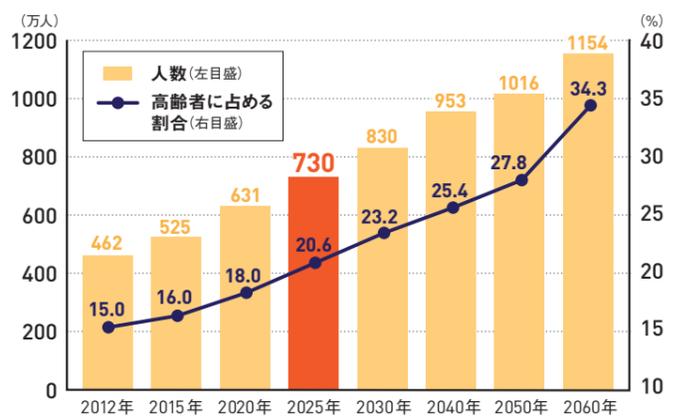
\*炎症メディエーターとは、体内で炎症反応を起こしたり維持したりする物質の総称。

実は、歯周病は歯を失う以外にも認知症に影響を与えるといわれています。

歯周病の原因は Porphyromonas gingivalis (ポルフィロモナス・ジンジバリス) などの歯周病原菌を含むプラーク(歯垢)ですが、この歯周病原菌の成分の一部や毒素が認知症患者の脳内か

歯周病が認知症に及ぼす影響

図1 65歳以上の認知症患者数と有病率の割合



\*糖尿病有病率の増加により認知症有病率が上昇すると仮定した場合。「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(2014年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 二宮利治・九州大学教授)による速報値  
出典：高齢者の健康・福祉 平成28年度版高齢社会白書(概要版) 内閣府

認知症とは、一度獲得した認知機能が、何らかの原因により持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたす状態をいいます。様々な種類の認知症があり、最も有名なアルツハイマー型認知症が約半数を占めます。アルツハイマー型認知症は脳神経が変性して脳の一部が委縮していくため、発症初期はもの忘れが多くゆっくりと進行します。また、脳梗塞や脳出血などに

認知症とは

成人が歯を失う最も大きな原因は歯周病、次いで虫歯ですが、歯の喪失と認知症との関連が数多く報告されてきています。愛知県で2012年に行われた Yamamotoらの研究では、20本以上の歯が残っている人と比べて、歯がほとんどなく義歯を使用していない人では、約1.9倍認知症のリスクが高いことが示されています(図2)。

一方、義歯を装着すると認知症のリスクが低下し、20本以上の歯が残っている人と同等に近いリスクになることも報告されています。この理由はまだ分かっていませんが、十分な咀嚼が

認知症と歯の喪失との関連

より生じる血管性認知症もあり、複数の認知症を合併している患者も多くみられます。

加齢や生活習慣病などが発症のリスクになることが知られており、日本における65歳以上の認知症の人の数は2020年の時点で約600万人と推計され、2025年には約700万人(高齢者の約5人に1人)が認知症になると予測されています(図1)。また、認知症の段階である軽度認知障害も合わせると65歳以上の人の30%近くが認知症になるともいわれています。人生100年時代を迎え身近になってきている認知症ですが、まだ根本的な治療法・薬がないのが現状です。

まとめ

認知症が進行していくと、どうしても自分自身で口腔内の変化や違和感が付きにくくなり、周囲の方が異変に気が付いて受診されたころには虫歯や歯周病が進行していたり、合わない義歯で口の中が傷だらけということもあります。また、口腔のケアを良好に行うことが難しくなるばかりでなく、歯科医院への通院も困難になってきます。

認知症になる前あるいは軽度で歯科医院への通院が可能ならうちに口腔の機能回復処置を受け、口腔内の環境を良好に維持するようにすることが大切です。そうすることで、食生活を楽しみ、栄養のバランスを維持し、認知症の進行を遅らせる可能性があります。

次号は「歯周病と誤嚥性肺炎との関連」です。